



れんげそう

令和6年2月29日
福生第五小学校
学校通信 号外②

学校評価（児童アンケート）結果と対応について

保護者アンケートとともに、子どもたちを対象にアンケートを実施しました。

以下の結果を保護者や地域の皆様と共有し、御家庭と地域が連携して、よりよい学校を目指し、教職員一同、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

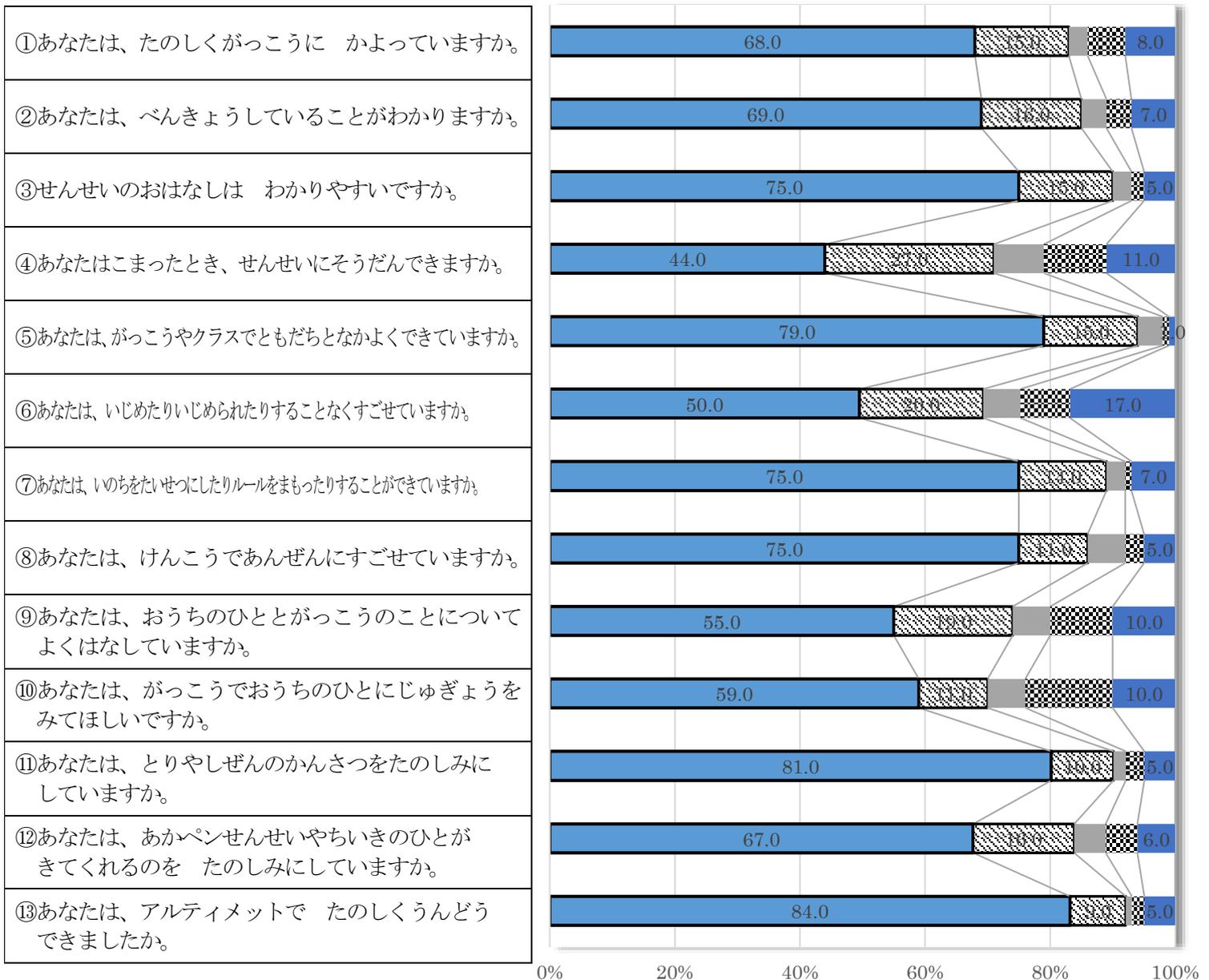
1 1・2年生対象「がっこうひょうかアンケート」集計結果

【実施日】令和5年12月5日～令和6年1月31日

【回収数】110（児童数110名）

【回答方法】二次元コード読み取りによるアンケートフォームでの回答

■A:そう思う ▣B:ややそう思う ■C:ややそう思わない ▤D:そう思わない ■E:分からない



(記述式回答：表記等については、漢字や語尾等を修正して示しています。)

⑭がっこうでたのしみに行っていることをおしえてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業 ・勉強 ・国語 (漢字、図書) ・算数 (掛け算) ・生活科 (秋の宝物のランド、凧あげ ・音楽 ・図画工作 ・体育 (長縄、縄跳び、持久走、アルティメット) ・学びタイム ・先生と一緒に学習できること ・テスト ・かわせみ教室 (グループ学習会、個別学習) ・席替え ・絵などで入選すること ・休み時間 (サッカー) ・友達に会えること ・お楽しみ会 ・転校生が来ること ・係活動 ・給食 ・野鳥観察会 ・遠足 ・運動会 ・学習発表会 ・進級すること
⑮がっこうでこまっていることや、こうなるとよいとおもうことをおしえてください。
<p>(こまっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人についてこられたときどうすればよいか教えてほしい。 ・先生が倒れてしまったら困る。 ・けんか ・勉強が分からない。 ・困ったとき先生に相談できない。 ・1日に国語が2時間ある。 ・漢字が難しい。 ・日本語が分からない。 <p>(こうなるとよいとおもうこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学べる。 ・話をしっかりと聞く。 ・いじめがなくなつてほしい。 ・けんかがない。 ・よい言葉をつかう。 ・みんなが優しく、最後まで頑張る人が増える。 ・明るく元気にみんなで仲良くしたい。 ・みんなが学校に来られる。 ・困っていたら友達や先生に相談できる。 ・みんなで使う物を大切にできる。 ・友達の意見を聞き、自分の意見も言える。 ・外で楽しく元気いっぱいあそぶ。 ・手洗いうがいをする。

2 アンケートの集計結果に対して

※番号はアンケート結果の番号に対応しています。

※以下、「肯定的評価」は「A:そう思う」と「B:ややそう思う」の合計の割合で示しています。

番号	肯定的評価	集計結果に対して
①	83%	この項目は学校教育の根幹をなすものであるため、C・D層の児童に対しても分かる楽しい授業や楽しい教育活動の充実に努め、肯定的な回答が90%以上になることを目指します。
②	85%	東京ベーシックドリル診断シートや、市学力調査の結果と、児童の漢字や計算の定着度合から、児童の「分かっている」という感覚と実際の学力の定着度には差があると言えます。学力の基礎・基本となる知識、技能の定着を図る指導を引き続き徹底していきます。
③	90%	この項目に関する肯定的な回答の割合は、他の項目に比べて比較高い数値が出ていますが、引き続きユニバーサルデザインの視点を生かした、誰にでも分かりやすい授業づくりをすすめていきます。
④	71%	肯定的な回答の割合が低い項目です。安全で安心な学校となるためにも、6・11・2月のふれあい月間のいじめ防止アンケートでの相談や日頃の会話等、安心して担任に相談できる関係づくりに努め、専科教員やSC等、多くの大人や友達に相談できるように指導していきます。
⑤	94%	肯定的な回答の割合が最も高い項目です。協働的な学びや異学年交流を推進してきた結果と考えられます。今後も、子どもたちが豊かな人間関係を育むことができるように指導していきます。
⑥	70%	6・11・2月のふれあい月間のいじめ防止アンケート、いじめ防止に向けた授業や、保護者や地域の方との連携をすすめていくことで、いじめの未然防止や早期発見、早期解決に努めていきます。
⑦	89%	この項目について自信をもって、肯定的な回答ができるように人権教育に重点をおき、道徳科の授業を要として、生命を大切することや社会のルールを守ることに、引き続き指導していきます。
⑧	86%	楽しく走ろう期間、なわとび月間、体育等、全ての子どもたちが楽しく活動できる工夫をして、体を動かすことが好きになるようにしていきます。次年度以降も安全教育推進校としての経験を生かし、安全で安心な生活に関する指導をすすめていきます。
⑨	74%	学習や学校の出来事をお家の人と話すことは、「振り返ること」につながり、学習の定着や考える機会につながります。家庭学習の取組という面を含め、家庭とのよりよい連携のすすめかたを検討していきます。
⑩	70%	児童が「自分のがんばりをぜひ見てほしい」「一緒に学習活動できることが楽しみ」と思えるように、学校公開や保護者の方々に参観と一緒に学ぶ機会を積極的に設けていきたいと考えております。
⑪	91%	五小の特色のある教育活動である愛鳥活動を、子どもたちが主体的に、実感を伴って学ぶことができるように工夫改善しながらして実施していきます。
⑫	83%	今年度は5月以降、様々な場面で地域人材やゲストティーチャーを招聘しました。今後も積極的に、子どもたちに協働的な学びや外部人材からの有意義な学びを実現していきます。
⑬	93%	元日本代表の講師を招いて全学級が3回行ったアルティメット教室で楽しく体を動かすことができました。体育の学習として実施しました。たくさんの保護者の方にも御覧いただきました。次年度も同様の内容で実施できるよう計画しています。

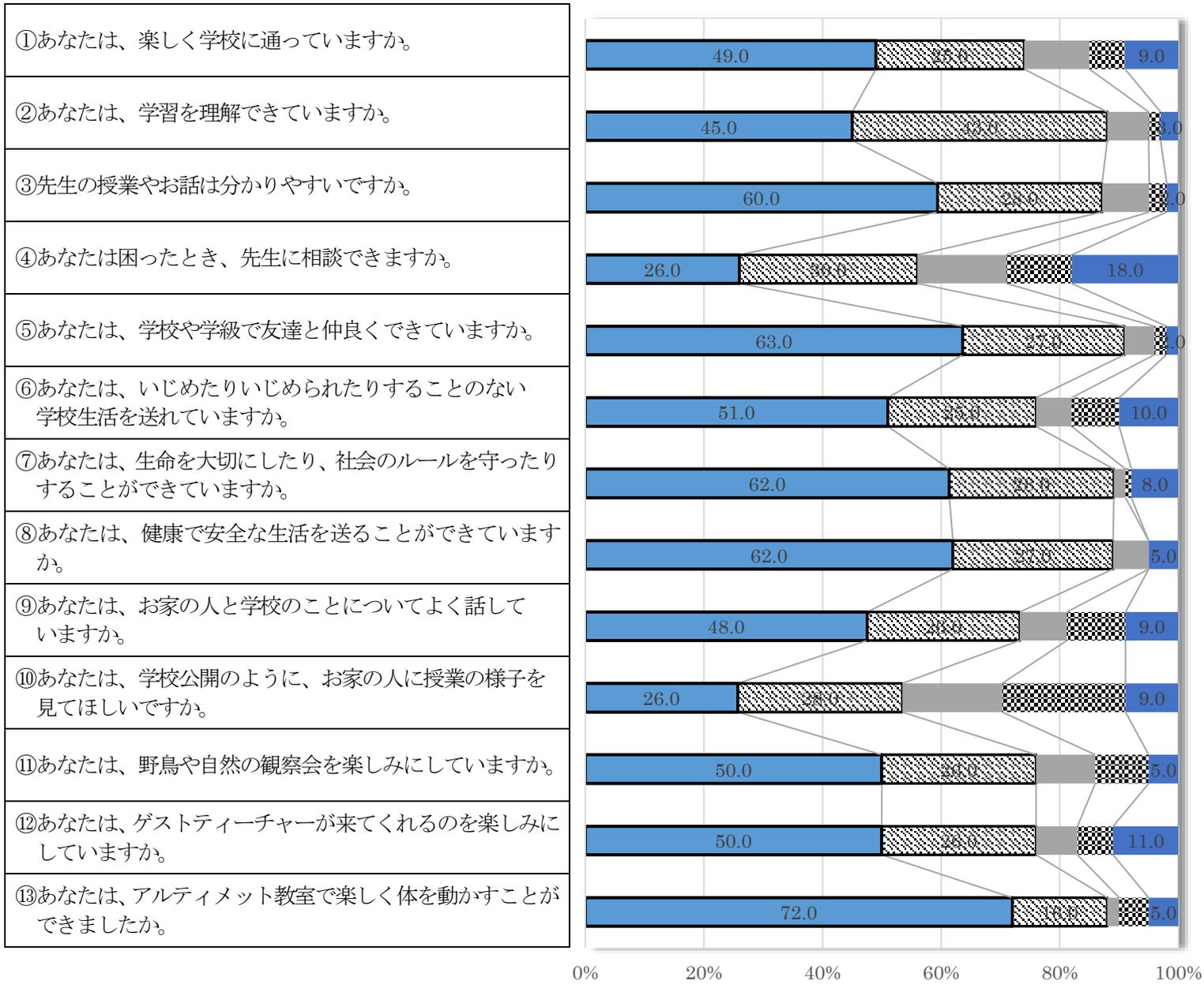
3 3～6年生対象「学校評価アンケート」集計結果

【実施日】令和5年12月5日～令和6年1月31日

【回収数】185（児童数207名）

【回答方法】二次元コード読み取りによるアンケートフォームでの回答

■A:そう思う ▨B:ややそう思う ■C:ややそう思わない ▩D:そう思わない ■E:分からない



(記述式回答：表記等については、漢字や語尾等を修正して示しています。)

⑭学校生活で楽しみにしていることを教えてください。

- ・国語（図書、読書、習字） ・社会 ・算数（新しい計算の学習） ・理科（実験） ・音楽 ・図画工作
- ・外国語（友達との交流） ・体育（ポートボール、縄跳び、アルティメット） ・学級活動（お楽しみ会など）
- ・総合的な学習の時間（プログラミング） ・テスト ・ゲストティーチャーによる授業 ・クラブ ・委員会
- ・休み時間（中休み、昼休み） ・給食 ・野鳥観察会 ・愛鳥テスト ・運動会 ・学習発表会 ・名栗自然教室
- ・日光移動教室 ・感謝を伝える会 ・学校行事 ・友達（仲良くする、話す、遊ぶ、会える、一緒に学習する）
- ・先生と会話する ・みんながみんなにやさしくなる席替え ・特別時程4時間授業

⑮学校生活で困っていることや、こうなるとよいと思うことを教えてください。

(困っていること)

- ・兄弟が学校生活を楽しんでいるかどうか心配です。 ・欠席者が多い。 ・習字の筆の動かし方が分からない。
- ・算数が分からない。 ・中休みや昼休みのチャイムが鳴ってすぐに教室に戻ってこない人がいる。
- ・いじめについて困っている。 ・友達関係で悩んでいる。 ・言葉づかいが悪い。 ・噂話やコソコソ話がある。
- ・授業中騒がしい。 ・教室が寒い。 ・夏に冷房があまり使えない。 ・先生の話が長い。
- ・トイレの床にトイレトペーパーが散乱している。

(こうなるとよいと思うこと)

- ・友達ともっと仲良くなる。 ・みんながみんなに優しくなる。 ・困っていたら助けてあげる。 ・いじめがない。
- ・呼び捨てやあだ名がなくなる。 ・トラブルがない。 ・けんかをしない。 ・暴言や人が傷付くことを言わない。
- ・仲間外れをしない。 ・授業中私語をしない。 ・ルールを正しく守る。 ・廊下や階段は走らずに歩く。
- ・昼休みの時間が増えてほしい。 ・学校生活についてみんなで話し合う時間を増やす。 ・掃除を多くする。
- ・シャープペンシルを使えるようにする。 ・プリントでの宿題を出してほしい。 ・音響を直してほしい。
- ・バスケットゴールをもう一増やしてほしい。 ・地域との関わりを深くするとよい。 ・毎日4時間授業がよい。
- ・もう少し自由にしてほしい。 ・算数の教室移動をなしにしてほしい。 ・学校公開日に宿題を出さない方がよい。

4 アンケートの集計結果に対して

※番号はアンケート結果の番号に対応しています。

※以下、「肯定的評価」は「A:そう思う」と「B:ややそう思う」の合計の割合で示しています。

番号	肯定的評価	集計結果に対して
①	74%	記述回答欄から、多くの児童が、互いを思いやり穏やかな気持ちで学校生活を送りたいと願っていることが分かります。を肯定的な回答が90%以上を目指し、教育活動の充実に努めていきます。
②	88%	1・2年生同様、東京ベーシックドリル診断シートや、各種学力調査の結果と、児童の「分かっている」という感覚と実際の学力の定着度には差があると言えます。学力の基礎・基本となる知識、技能の定着を図る指導を引き続き徹底していきます。
③	88%	この項目に関する肯定的な回答の割合は、他の項目に比べて比較高い数値が出ています。引き続きユニバーサルデザインの視点を生かした、誰にでも分かりやすい授業づくりをすすめていきます。
④	56%	肯定的な回答の割合が低い項目です。安全で安心な学校となるためにも、6・11・2月のふれあい月間のいじめ防止アンケートでの相談や日頃の会話等、安心して担任に相談できる関係づくりに加え「SOSの出し方に関する教育」にも努め、専科教員やSC等、多くの大人や友達に相談できるようにしていきます。
⑤	90%	肯定的な回答の割合が最も高い項目です。協働的な学びや異学年交流を推進してきた結果と考えられます。今後も、子どもたちが豊かな人間関係を育むことができるように指導していきます。
⑥	78%	「遊びのつもり」「ふざけているつもり」でやったことでも相手が「嫌だ」と感じたらそれはいじめになるということを繰り返し指導し、いじめの未然防止や早期発見、早期解決に努めていきます。
⑦	90%	この項目について自信をもって、肯定的な回答ができるように、道徳科の授業やセーフティ教室の充実を図り、生命を大切することや善悪の判断を正しくすることについて、指導していきます。
⑧	89%	楽しく走ろう期間、なわとび月間、体育等、全ての子どもたちが楽しく活動できる工夫をして、体を動かすことが好きになるようにしていきます。次年度以降も安全教育推進校としての経験を生かし、安全で安心な生活に関する指導をすすめていきます。
⑨	74%	学習や学校の出来事をお家の人と話すことは、「振り返ること」につながり、学習の定着や考える機会につながります。家庭学習の取組という面を含め、家庭とのよりよい連携のすすめ方を検討していきます。
⑩	54%	児童が、普段の学習の成果を存分に発揮し、保護者や地域に立派な姿をお見せすることができるように、学校公開や保護者の方々に参観と一緒に学ぶ機会を積極的に設けていきたいと考えております。
⑪	76%	五小の特色のある教育活動である愛鳥活動を、子どもたちが主体的に、実感を伴って学ぶことができるように工夫改善しながらして実施していきます。
⑫	76%	今年度は5月以降、様々な場面で地域人材やゲストティーチャーを招聘しました。今後も積極的に、子どもたちに協働的な学びや外部人材からの有意義な学びを実現していきます。
⑬	88%	元日本代表の講師を招いて全学級が3回行ったアルティメット教室で楽しく体を動かすことができました。体育の学習として実施しました。たくさんの保護者の方にも御覧いただきました。次年度も同様の内容で実施できるよう計画しています。